

JAPIC NEWS



Contents

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC**
Japan Pharmaceutical Information Center

巻頭言

「[こころを整える]というタイトルの本がありました。。。～コーヒー嫌いがスタバに行くとき・紅茶好きが飲む紅茶を選ぶとき～」
アステラス製薬株式会社 営業本部DIセンター長 佐藤 直子 …………… 2

インフォメーション

「平成25年度JAPICユーザ会」開催のご案内 …………… 4
J-DreamⅢでの「JAPICDOC」についてのお知らせ …………… 4

トピックス

JAPICサービスの紹介
JAPICが編集・発行する書籍・雑誌・CD-ROM/DVD …………… 5
JAPIC-Q(医薬文献・学会情報速報)サービス …………… 8

コラム

しごと百景「新会社を設立して、OTC医薬品適正使用と医療IT」
CDSystem株式会社 代表取締役 陳 恵一 …………… 10
会員の声「JAPICでの思い出」
わかさ薬局 薬局長 河野 光男 …………… 12
くすりの散歩道 No.69「ふうっと一服」
(一財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当 山田 哲史 …………… 13

外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報より(抜粋) …………… 14

■図書館だよりNo.276 ■情報提供一覧 …………… 15

6

2013 | No.350

「こころを整える」というタイトルの本がありました。。。
 ～コーヒー嫌いがスタバに行くとき・
 紅茶好きが飲む紅茶を選ぶとき～

アステラス製薬株式会社 営業本部DIセンター長
 佐藤 直子 (Sato Naoko)



残念ながらコーヒーが飲めない。そんな私はスターバックス（以下、いつもの呼び名「スタバ」と略す）には行く。それも“ひと仕事やり遂げて山を越えた時のご褒美”“ここ一番がんばろう！”という時のリフレッシュ”に行くことを自分に許している。そんな特別なところになっている。許しているというのは、ちょっとした贅沢をしていることと、ウエイトと脂質が高くなることについてだ。

コーヒーが飲めないのにスタバに何を求めに行くのか今さら考えてみると、お店のスタッフのホスピタリティに触れホッとできることが一番、そして私にも飲めるおいしいドリンクの甘みでなんとなく脳が活性化されたような気がするのが次だと思う。

■一冊の本との出会い

『スターバックスを世界一にするために守り続けてきた大切な原則』ハワード・ビーハー著（日本経済新聞出版社）特別感を感じているから目に留まったのだと思う。本の中にスタバのBig Hairy Audacious Goal (BHAG: 社運をかけた大胆な目標) は「人々の心に活力と栄養を与えるブランドとして世界でもっとも知られ、尊敬される企業になること」とあって、私が今まで感じていた特別感に大いに納得し、その精神がこの日本の店舗に、スタッフのひとり一人にしっかり息づいていることに感動すら覚えた。

この本は、「人の心に活力と栄養を与える」という目標を胸に取り組んだ著者自身の人生感、「人を第一に考える」という企業文化を軸にしてスタバを世界一にしていた軌跡、彼自身が守り続けてきた仕事と人生で大切な10の原則を示している。

こころに響くメッセージがふんだんに盛り込まれ、エネ

ルギー溢れ学ぶところの多い本だが、ここで紹介したいのは、彼がこころにとめておきたい言葉を書き出し壁に飾っているという話だ。

彼が「自分探しの旅で道を踏み外さぬよう、ガードレールの役割を果たしてくれる」のだそうだ。

「このコレクションが私の人生の地図だ。引用句が私が受けた教育をあらわしている。歴史から、上司から、そして経験から、私は知恵を受け継いだ。これらの教訓を形にして、毎日見える場所にわざと置けば、自分にとって大切なことをいつも肝に銘じることができる。教会やモスクや寺院に行くのと同じように、大切なこと、学んだ教訓、そして仕事や人生の道しるべになることを思い出すことができる。」

常に忘れないように

壁にぶつかって方向を見失いそうになったときに

それらの中にその時の自分の状態や気持ちにぴったりの言葉があるという。

「一番生き生きと感じられる心構えを見つけなさい。そのとき内なる声は『これが本当の私だ』と言うでしょう。見つけれたら、その心構えに従いなさい」

十九世紀末の心理学者で哲学者でもあるウィリアム・ジェームズからのアドバイス

今日ほどぴったりと思えることはない。

■持論をもつ？

上記の本に出会う以前、神戸大学大学院経営学研究科教授 金井壽宏先生の講義を受ける機会を得た際、「リフレクティブ・プラクティショナー」になれ！そして

「持論」をもて！と教えをいただいた。

「リフレクティブ・プラクティショナー (reflective practitioners)」は日本語にすると「内省的実践家」もしくは「省察的実践家」となる。「内省」「省察」は「反省」とは異なり将来を展望し、将来のアクションがブレなく実践していくために自分の行動を振り返りながら、前に進んでいく行為を続けている人のことだ。

「能率よく仕事を片づけるには、原則をおぼえるのが手っ取り早い。しかし、より長期的な創造的適応力を維持するためには、原則を生成したり、改変したり、もしくは原則の範囲内でも即興的に考えることが必要となる。

そのためには、原則が拠って立つ意味をよく理解する必要がある。意味を探索し、原則を自ら生み出すのが、リフレクティブ・プラクティショナーの真骨頂だ。」

原則を学び、自ら実践し、結果を内省し、新しい原則へと改変していく、これが「リフレクティブ・プラクティショナー」なのである。

そして「リフレクティブ・プラクティショナー」となるための方法として経験からの内省によって、あるいは質問と議論を通じて自ら作り出した「持論」をもつように。それは必ずしも偉人の言葉や普遍的理論でなくてもかまわない。ただその「持論」を研究者によって検証された抽象度の高い「理論」とうまく突き合わせ、自分なりの裏付けをとってパワフルなものにしておく必要がある。

「持論」をもつから、内省も質問も議論も研ぎ澄まされたものになるし、理論の目利きにもなれるはず。

それから私は自分なりにその実践を試み続けていた。「持論」を挙げるときは7つくらいは必要、またタイムリーであることとのポイントもお聞きしたので、まめに入れ替え作業も行ってみた。

そこにハワード・ビーハーの本に出会った。挙げられていた10の大切な原則が「持論」に当たると理解した。彼をまねてその時々、こころに響く言葉、文章を気軽に書き残すことをはじめたのと同時に内省の実践も楽しくなり、進めやすくなってきた気がする。

これは全く自分勝手な解釈であり、もしこれを金井先生がお読みになったら「全く見当違い！」とお怒りになるかもしれないが「よし」としている。

■スタバか紅茶か

冒頭のコーヒーが飲めない私がスタバに行く話を話そう。

スタバに行って私は内省をしていると言えればいいのだ

が、実際は既述のとおり、ホッとするためとリフレッシュするためである。しかし「心に活力と栄養を与えてもらっている」ことに間違いなく、「またがんばろう」と思える。

コーヒーが飲めない分、私は無類の紅茶好きである。紅茶教室にも通って5年以上になる。

お茶は、日本茶、紅茶、中国茶そのいずれも元は同じチャノキ(茶樹)(学名:Camellia sinensis 基本変種)の葉であることはご存知だろうか。その他インドのアッサム地方で高木になる変種のアッサムチャ(学名:C. sinensis var. assamica)、その両方を交配したものなどもあるが、元は同じ。その中の紅茶は摘み取った茶葉や茎を通風乾燥させ、篩分、揉捻、完全発酵、熱乾燥とステップを踏んで出来上がる。

基本的工程はだいたい同じでも、栽培される場所の高度や山の斜面の向きと風の当たり方など立地条件、気候の違いによって全く風味の異なる違う名前の紅茶になる。同じ樹でも収穫する時期によって、また同じ時期でも茶葉の大きさや芯芽や若葉の含まれる分量によっても味も変わってくる。雨量など気候に大きく左右されるので同じ茶園でも年によって全く出来が違うというから本当に奥が深い。と、紅茶の話になるとつい熱が入ってしまう。

教室に通うまでは、いわゆるブレンドやフレーバーティー(着香茶)が紅茶の種類だと思っていたが、フレーバーを付けていない紅茶だけでも上記のような条件の違いで違った味を楽しむことができる。料理やお菓子に合う紅茶を選択して、食事も紅茶もおいしくいただけるのが楽しみの一つだ。余談だが、おしゃれなレストランやケーキの美味しいお店に行っても、デザートと一緒に出るドリンクのコーヒーは種類も豊富でおいしそうなのに、紅茶には力が入っていない感じでおいしくないお店がほとんどだった。しかし最近はこだわりを感じるおいしい紅茶を出してくれる店も増えてきたように思う。期待していないだけにその時の喜びは大きい。

ここでは、食事に限らず、その時の気分によって紅茶の種類や飲み方を選択することをお勧めしたい。ハーブティーは効果が謳われているので選択しやすいと思う。

私は、普通の紅茶で選ぶなら、シャキッとリフレッシュしたい時は濃いめに入れたディンブラのストレートティー、軽く気分を変える時はヌワラ・エリヤのアイスストレートティー、

内省にひたる時はウバのストレートティー、無の境地でゆっくりしたい時はルフナのミルクティー、といったところだ。是非お試しあれ。

「平成25年度JAPICユーザ会」開催のご案内

■日時・会場

- 東京 平成25年6月18日(火) 13:30~17:00 (受付開始 13:00~)
日本薬学会長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷2-12-15 長井記念館B2F)
- 大阪 平成25年6月21日(金) 13:30~17:00 (受付開始 13:00~)
大阪ブリーゼプラザ803・804号室 (大阪市北区梅田2-4-9ブリーゼタワー8F)

■プログラム：(東京・大阪)

- 13:30 主催者挨拶
- 13:35~14:40 平成25年度事業トピックス
①海外文献学会カスタマイズ情報
(トムソン・ロイターのCustom Information Services)
②医療機器情報提供サービス
③総合検索システム
- 14:40~15:00 休憩 コーヒータイム
- 15:00~16:10 特別講演 「これからの医薬品安全対策について」(仮題)
独立行政法人医薬品医療機器総合機構
安全管理監 森 和彦 先生
- 16:10~17:00 事例紹介「JAPIC-QXサービスについて」(仮題)
- 17:00~18:30 懇親会

■お申し込み方法:JAPICホームページ講演会・ユーザ会 入力フォームからお申し込み下さい。

■参加費:無料

■お問合せ:事務局 業務・渉外担当 (TEL 0120-181-276)

J-DreamⅢでの“JAPICDOC”についてのお知らせ

J-DreamⅡは平成25年4月よりJ-DreamⅢとなり株式会社ジー・サーチの運営になりました。J-DreamⅢでは今まで同様JAPICDOC (国内医薬文献情報データベース) がご利用可能となっております。

JAPIC会員は割引料金 (A・D会員:30%割引 B・C・E・F会員:20%割引) でご利用できます。
引き続きのご利用をよろしくお願いいたします。

JAPICが編集・発行する書籍・雑誌・CD-ROM/DVD

[お問合せ先] 事務局 業務・渉外担当 (TEL:0120-181-276、FAX:0120-181-461)

◆JAPIC医療用医薬品集<検索用DVD付>



国内で流通する全医療用医薬品を収録した医薬品集。本文・索引を約40年の編集実績に基づき、重要事項を見付けやすい紙面構成としました。なお、付属の検索用DVD（非インストール版）には、医療用・一般用添付文書情報、薬剤識別コード一覧等の情報を収録しております。

◆病名適応医薬品集



標準病名に対応する医薬品を表にまとめ、さらに慣用病名と標準病名をリンクさせており、標準病名から厚生労働大臣による承認された医薬品を選択できます。オンライン請求のレセプト点検を支援しています。また、先発品と同じ一般名を持つ後発品などが確認出来ます。

◆JAPIC一般用医薬品集



国内の一般用医薬品を収録した一般用医薬品集。一般用医薬品販売に必要な情報である、医薬品製品ごとのリスク区分の記載を本文及び索引に掲載しております。

◆ポケット版 病名適応医薬品一覧



上記書籍、病名適応医薬品集のポケット版。A6判サイズなので持ち運びに便利です。標準病名とそれらの病名の適応を持つ承認医薬品を関連付け一覧表にまとめています。

◆添付文書記載病名集



医療用医薬品約15,000品目（漢方製剤を除く）の効能効果と国際疾病分類第10版（ICD10）及びJAPIC疾病辞書に基づく標準病名を関連付けた電子カルテ・オンラインレセプト時代に必携の一冊です。

◆JAPIC医療用医薬品集 普及新版



医療用医薬品集の記載内容を承認事項・使用上の注意に絞り込み、臨床にて使いやすいように再構成した一冊です。改訂著しい医療用医薬品集の追補としてもご利用下さい。

❖ JAPICサービスの紹介 ❖

◆JAPIC 漢方医薬品集



医療用漢方製剤・一般用漢方製剤を網羅した書籍です。添付文書情報に加えて、レセプト申請に役立つ医療用漢方製剤に対応する標準病名の一覧を収録しております。

◆日本の新薬 -新薬承認審査報告書集-



新薬の承認審査における厚生労働省の「審議結果報告書」および医薬品医療機器総合機構等の「審査報告書」をすべて収録しております。全52巻を発刊しており、お得で便利なセットでのご購入がおすすめです。

◆医薬品副作用報告一覧



医薬品医療機器情報提供ホームページ掲載の「副作用が疑われる症例報告」を2004年4月～2009年11月までの期間分を累積し成分ごとにとまとめております。

◆JAPIC医療用医薬品集 薬剤識別コード一覧



医療用医薬品集掲載の医薬品のうち、添付文書に識別コード・包装コードの記載のある品目を掲載しております。ご利用しやすいように薬剤識別コードの数字順、英字順、マーク順に配列しております。

◆JAPIC Pharma Report -海外医薬情報 (月刊)



海外の承認情報、臨床試験、有効性・安全性情報、医薬品を巡るトピックス等主要な情報がこの1冊に集約されています。

◆日本の医薬品 構造式集



医療用医薬品集に収録されている医薬品の構造式の他、効能効果等の各種関連情報を収録しております。構造式の違いを比較検証することができます。

◆重篤副作用疾患別対応マニュアル第1集～第5集



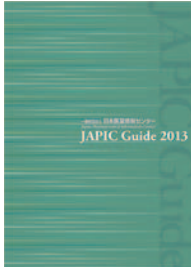
厚生労働省、医薬品医療機器総合機構のホームページに公開の75マニュアルを第1集～第5集として発刊いたしました。第5集には付録として第1集～第5集までの総合索引がついています。

◆重篤副作用疾患別対応マニュアル (iPad版)



重篤副作用疾患別対応マニュアル第1集～第5集までの書籍をもとに電子化を行い、iPad用アプリケーションとしてリリースしました。

◆JAPIC Guide



本書はJAPICの事業活動を
一覧でき、内容を簡単に把握
できることを目的に毎年発行
しております。

◆医薬品製造承認品目一覧



厚生労働省から日本製薬団
体連合会を通じて医薬品の製
造承認資料を入手し、JAPIC
データベース「SHOUNIN」で
提供しております。この内容を
一年分まとめて冊子体にした
ものが本一覧です。

◆JAPIC News (月刊)



JAPICの活動状況、会員機関
の代表者等による巻頭言、気
軽に読めるコラム、シリーズ、
会員の声等を掲載し、読者と
のコミュニケーションの場とな
ることを目的に発行しておりま
す。

CD-ROM 及び検索用DVD

◆JAPIC 医療用・一般用医薬品集インストール版 (CD-ROM)



医療用・一般用医薬品集デー
タに、薬価データ等を追加収
録しています。医薬品の添付
文書情報、薬価、識別コード
情報等の検索・閲覧・データ
出力等にご利用いただけま
す。

◆JAPIC OTC医薬品CD-ROM



情報提供に重点が置かれた
改正薬事法に基づく一般用医
薬品販売制度改正に対応して
いる一般用医薬品添付文書
検索データベースで、医療用・
一般用医薬品集インストール
版(CD-ROM)よりも一般用医
薬品に特化しております。

◆JAPIC 医療用・一般用医薬品集検索用DVD (非インストール版)



「医療用医薬品集」に添付し
ている検索用DVDです。医
療用・一般用医薬品集インス
トール版とは異なり、編集・加
工は出来ませんが、医療用医
薬品集、一般用医薬品集、薬
剤識別コード一覧、薬価情報、
後発品の全情報を検索・閲
覧頂けます。

❖ JAPICサービスの紹介 ❖

■ JAPIC-Q (医薬文献・学会情報速報) サービス

JAPICでは、事業の一つとして“医薬品の安全性に関する情報の提供”を行っています。

今回は、多くの製薬企業の皆様にご利用いただいている「JAPIC-Q (医薬文献・学会情報速報) サービス」についてご紹介します。

◆JAPIC-Qサービスとは・・・

JAPIC-Qサービスとは、当初、GPMSP省令による製薬企業の業務支援を目的として、平成5年4月1日より開始したサービスです。現在はGVP省令第7条の「安全管理情報の収集」に関する支援を行っています。関連法規の変遷に応じ、20年間継続して情報を提供しております。

◆特徴◆

1. 国内で開催される医学・薬学関連の学会予稿集・プログラム・学会報告および医学・薬学関連の学術雑誌を収集
([\\$豊富な資料源と情報提供量\\$](#)参照)
2. 医薬品の安全管理情報に関する情報を迅速に提供
3. 予め対象とする医薬品を登録していただき、毎週1回JAPIC-Qサービス提供用のJAPIC構築データベースを検索した結果を提供するSDI (Selective Dissemination of Information) サービス



文献情報の収集労力・費用・サーチの人手が節減できます!!
ご登録の医薬品情報を効率的、かつ迅速に評価できます!!

[\\$豊富な資料源と情報提供量\\$](#)

- 国内で開催される医学・薬学関連学会の総会・年会、学術大会、地方会など年間約5,800学会の予稿集・プログラムを収集（主に地方会の学会収集に力を入れています。）
→各種学会誌、地方会誌に掲載された学会情報も含め年間約73,000報告（演題）の学会情報を提供しています。
- 国内の医学・薬学関連雑誌約430誌に掲載された論文
→年間約13,000報告の論文情報を提供しています。

[\\$JAPIC-Qサービスのキーワード\\$](#)

Qサービスのご利用には、予め医薬品名をご登録いただきます。

Qサービスのキーワードとして、医薬品名と内容に関連した17種類のキーワード（①副作用 ②感染症 ③安全性 ④相互作用 ⑤過量投与 ⑥誤用乱用 ⑦医療過誤 ⑧品質 ⑨副作用軽減 ⑩有効性欠如 ⑪無効 ⑫妊婦 ⑬授乳婦 ⑭18歳未満 ⑮適応外使用 ⑯一般用医薬品 ⑰偽造薬）があります。

医薬品名と17種類のキーワードから、各ユーザーのご要望に対応した検索式を作成し、Qサービス提供用に構築したデータベースよりJAPICが検索を行い、検索結果を週1回ご提供します。

提供の際には資料源となった学会名・学会開催日・学会開催地、あるいは雑誌名・雑誌の発行年月・著者名・所属機関などの書誌的情報も含めてお届けします。

また、過去に遡ってのQサービスの検索も行っております（JAPIC-Q遡及検索）のでお問い合わせ下さい。



§ご利用方法§

ご利用には、検索式の登録等の手続きが必要です。ご要望をお伺いし、JAPICで検索式を作成、ご確認いただいた後にスタートとなります。また、ご登録内容の変更やご相談も承ります。どうぞお気軽にご連絡下さい。

JAPIC-QXサービス

Qサービスの検索結果をさらにユーザー様のご要望に応じて加工提供するサービスです。Qサービスの結果からさらにユーザーニーズに則した内容でご提供します。

どうぞお気軽にご相談下さい。

□お問合せ先 (医薬文献情報 JAPIC-Qサービス担当)
TEL : 03-5466-1821 (直) e-mail : japic-q@japic.or.jp

しごと 百景

新会社を設立して、 OTC医薬品適正使用と医療IT

CDSsystem株式会社 代表取締役
陳 恵一 (Keiichi Chin, PharmD)

はじめに

医療費適正化の一環でOTC医薬品の積極的な利用が求められる中、OTC医薬品を適切な販売環境について、ネット販売規制も相まって、大きく議論されています。そうした中、OTC医薬品など医薬品適正使用を支援する新会社、CDSsystem株式会社を、今年、設立致しました。CDSS (Clinical Decision Support System) という診療をサポートする米国医療ITシステム名から命名した会社です。

起業の経緯

きっかけは約30年前

OTC医薬品適正使用を支援するシステム開発のきっかけは、約30年前に遡ります。カリフォルニア大学薬学部の授業でOTC医薬品を1年間勉強する機会があり、それまで漠然としていたOTC医薬品に関する知識が、一気に整理された気がしました。その後、米国のKaiser Permanenteという病院で薬剤師そしてマネジャーとして約14年勤務。病院では、OTC 医薬品が要処方箋薬と垣根なく積極的に使用されていました。

8年前に帰国して

その後、2004年に日本に帰国。日本では、OTC医薬品が医療現場でほとんど使用されず、販売環境についても、患者はOTC医薬品を「成分」ではなく「商品名」で選択する傾向があります。2000年のJETRO報告書でもそうした日本の特殊性を指摘しています。総合感冒薬など日本の多くのOTC医薬品は配合剤であり、配合剤の多さが「製品名ベース」の販売に繋がる一要因になっていると推測されます。

こうした背景から、「成分ベース」で最適なOTC医薬品を選択する必要性を強く感じ、システムの開発を思い立ちました。

日米PBM¹シンポジウムでの出会い

システム開発にあたって必要なのは優秀なプログラマーです。焦らずに一年以上出会いを探しておりました。そうした中、2012年、日米PBMシンポジウムで、現副社長である南野氏 (株式会社MEDCIA社長) と出会ったのです。会場で最初に見かけた時は「若い薬剤師も参加しているんだなあ、、、」程度にしか思っていませんでしたが、彼は懇親会にも参加、「医薬品DBなどシステム開発している東大『工学部』の院生!？」と自己紹介したのでした、、、。出会いとは不思議なものです。

¹ PBM: Pharmacy Benefit Manager. 米国で薬剤給付を行う組織。

その後、彼の知人プログラマー2名が参加、さらに他の知人が1人また1人、そして弁護士事務所や会計事務所にも賛同して頂き、会社設立に至りました。現在、実質7名で仕事をしております。23歳から50歳まで、多様なバックグラウンドを持つ面白いチームが出来ました。



会社スタッフとの懇親会（飲み会）
（向かって一番左が著者、二番目が南野）

「世の中のためにやろうとしている事業なのだから、心配せず、信じてやれば良い」、「なんのためにやっているのか、初心を忘れないことが大事」、「出来ます（キリッ!）」を、サラッと抑揚なく言い放つ自信、確信、そして信念。今時の若い人は、本当に、たいしたものです。

合理的な薬物治療と医療IT そして患者志向

システム開発をしていて改めて思うのは、DB（データベース。以下、DB）の重要性です。JAPICのOTC医薬品DBのみならず、様々なエビデンス関連DBの構築をしています。

日米PBMシンポジウムの基調講演においても、合理的な薬物治療を遂行する上でDBが極めて重要であると説いていました。米国では、例えば調剤報酬のリアルタイム・オンライン請求プロセスにおいて、「調剤データの送

信→膨大なDBとの突合→結果出力」までをたった0.6秒で行っているそうです。

合理的な医療は、医療ITによって可能になり、医療ITの根幹はDBにある、ということになるのかもしれませんが。

米国ではさらに、医療ITが、医療制度改革を進める政府の支援もあり急速に進んでいます。Kaiser Permanenteでは、2002年から6年間かけて、医療ITに約6,000億円もの投資をし²、現在、FDA等の基金を得て、合理的な薬物治療の推進プログラムを遂行しています。

そして最後に「患者志向」。最近、ある米国の合理的な薬物治療を推進するグループ企業代表とお会いする機会がありました。医療ITの話が中心になるかと思いきや、「合理的な医療を進める上で一番大事なのは『患者志向』であり、患者志向なくしてビジネスは成立し得ない」と断言したのは、意外なショックでした。

世のため・人のため、システムを通してより良い医療を支援していきたいと、社員一同、決意を新たにしております。

今後とも宜しくお願い致します。

² Wikipedia. Kaiser Permanente.
http://en.wikipedia.org/wiki/Kaiser_Permanente

会員の声



JAPICでの思い出

わかさ薬局 薬局長

河野 光男 (Kawano Mitsuo)

早いもので、私が35年間勤務していたJAPICを退職し6年になります。

原稿依頼をいただき、さて何を書いたらよいかと考えてみました。JAPIC会員の皆さんも世代交代でJAPICの設立当初については知っている人も少なくなってきたと思いますのでJAPIC在職中のいくつかの思い出を述べさせていただきます。

私がJAPICの職員になったのは昭和47年10月で、まだ財団になる前の任意団体の時で、12月1日財団となりました。当時は、職員20人足らずと少なく、製薬企業の情報担当者が夕方6時ぐらいから集まり、いろいろとアドバイスをいただきながら仕事を進めていきました。

特に、医薬文献情報については、参加企業で雑誌の分担を決めて抄録作成等も行っていました。その後、徐々にJAPIC職員ですべてを行うようになっていきました。

医薬文献情報は、はじめはカードに印刷してJAPICカードとして提供していました。その後、このカードをもとに電子化の話があり、昭和54年に現在の医薬文献のもとであるJAPICDOCのオンライン提供を開始しました。

そして、JAPICDOCのデータが製薬企業によって再評価の資料として利用していただくようになりました。

また、平成5年には日本製薬工業協会の要望に基づき、製薬企業のGPMSP業務の支援サービスとして「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Q)」のシステム開発を行いました。

情報を早く提供するには今まで外注していた作業を(情報の収集、データ入力、検索等)すべてJAPIC内で行うようにするのに大変苦労しました。

このシステム開発中担当職員はいつも終電という日が何日も続きましたが、新しいことを行うという希望に燃えてみんな頑張っていました。

在職中は先に述べましたようにJAPIC全体のシステムと営業的なことをしてまいりました。

その間多くの製薬企業のJAPIC担当者にはいろいろとご指導いただき感謝しております。

さて、退職後は有限会社わかさ薬局(以下:わかさ薬局)の薬局長として勤務しております。わかさ薬局は独立行政法人西埼玉中央病院の前と所沢市民医療センターの前の2か所にあります。従業員は薬剤師が15名、事務員8名で調剤業務を行っています。

わかさ薬局は有限会社ですが、発足の趣旨は所沢市薬剤師会と個々の会員を中心に関連のある近隣薬剤師会(入間市薬剤師会、狭山市薬剤師会)の出資で運営しております。

JAPICに勤務していたときは情報を提供する立場でしたが、わかさ薬局では情報を入手し利用する立場です。小さな薬局では情報を入手するのに多くのお金はかけられません。そのような状況での情報は、製薬企業、卸、日本薬剤師会雑誌、県薬雑誌、日経DI、クレデンシャル、Pharma Tribuneなどが主なものです。私がJAPICのG会員に入会した理由は、iyakuSearch Plusと2種類の出版物が無料で利用できるメリットがあるからでした。先ほど述べたように情報の少ない小さな薬局では、大変貴重な情報源です。

特に、医療用・一般用医薬品集、重篤副作用疾患別対応マニュアル等は薬局が備えるべき図書として必要な情報源で大変助かっています。ただ、添付文書関連の情報は、個々であれば製薬企業から、薬効別にまとめたもの等は卸がきめ細かい情報を提供しております。

JAPICでは添付文書情報も、いろいろと加工できる形で保存しているのですから、うまく利用できるように加工すれば使いやすい情報が提供できるのではないのでしょうか。それには、実際の現場がどのように利用しているかの聞き取り調査が必要ではないかと思われれます。これからは、調剤薬局では益々患者への情報提供が求められます。来年の4月の診療報酬改定では情報提供についても何らかの指示があるのではないかと思います。

以上、取り留めのないことを述べさせていただきましたが、JAPIC OBとして今後のますますの発展を期待しております。

くすりの散歩道

NO.69



ふうっと一服

(一財)日本医薬情報センター 医薬文献情報担当
山田 哲史 (Yamada Akifumi)

「ファー!!」

今日も聞こえるキャディーさんの声。ゴルフを本格的に始めて約2年。思う方向に球がなかなか飛んでくれない。真っ直ぐ打とうとするとスライス(右利きなら右方向に曲がること)する。スライスが続くので思い切って左方向を狙うとなぜか左へ真っ直ぐ飛ぶ。練習では真っ直ぐ打てるのに本番になると右へ左へ不安定なショットばかりが続く。

昔からあがり症の筆者は本番になると周りの視線を妙に気にして余計な力が入ったガチガチのスイングになってしまい、その結果(もちろん技術的な理由も大いにあるのですが)真っ直ぐ飛ばせず不安定なゴルフになってしまうのです。ゴルフはメンタルのスポーツだとどこかで聞いたことがあります。まさにその通りだと強く実感しています。落ち着こうと頭ではわかっているにもかかわらず落ち着くことはできません。むしろ落ち着こうと思えば思うほど逆に落ち着かなかったりするものです。

ゴルフに限らず日常生活に緊張はつきものです。

学校、職場、女の子との初デートetc.

緊張する場面なんて挙げればキリがないですし緊張したことがない人間なんてきつといないはずですが皆さんはどうやってその緊張をほぐしていますか?目をつぶって大きく深呼吸。なんて方も多いのでは?

前置きがかなり長くなってしまいましたが、今回はその「呼吸」について少しお話ししたいと思います。

誰もが日常的に無意識に行っている呼吸にも大きく分けて二種類の呼吸法があるということをご存じでしょうか?肋骨を広げたり閉じたりして呼吸する胸式呼吸とお腹を出したり引っ込めたりすることにより横隔膜を上下させて呼吸する腹式呼吸がありま

す。一般的に女性には胸式呼吸が多く、男性には腹式呼吸が多いと言われています。横隔膜を使う腹式呼吸は肺が大きく膨らみ、胸式呼吸に比べてより多くの酸素を取り込むことができます。また、胸式呼吸は交感神経に刺激がいくのに対して腹式呼吸は副交感神経が働きます。副交感神経が働くということはつまりリラックスしているということです。同じ「呼吸」でも胸式呼吸よりも腹式呼吸の方がよりリラックス効果があるのです。ちなみに人間は寝ている時(つまりリラックスしている時)に無意識に腹式呼吸をしているそうです。

大きく深呼吸をしてみてください。息を吸うときに肩が上がる方は胸式呼吸になっています。呼吸の仕方を腹式呼吸に変えればよりリラックスし、緊張もほぐれるかもしれません。

腹式呼吸にはリラックス効果以外にも様々なメリットがあります。横隔膜を上下に大きく動かすことにより腹腔の内圧を上げ、内臓全体的に刺激が加わり内臓の働きが活発になり消化機能が改善されていきます。胃の血行が良くなれば胃もたれに、腸の動きが良くなれば便秘にも効果があります。また、横隔膜が運動することで腹筋が鍛えられ腰痛にも効果があるとされています。もちろん腹筋が鍛えられればウエスト痩せにも効果があるでしょう。腹式呼吸の方法は調べればいくらでも出てきます。興味のある方はぜひ挑戦してみてください。

このように呼吸の仕方を変えるだけで様々な効果があります。深呼吸をする時には腹式呼吸でリラックスし、スムーズなスイングができればキャディーさんもきっとこう言ってくれるはずですよ。

「ナイスショット!!」

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より – (抜粋)

2013年4月1日～4月30日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No.397-400)の記事から抜粋

■EU・EMA

- PRACはProtelos/Osseorの使用制限を勧告：心発作などの心臓障害のリスク上昇が示唆されたことを受けて
<http://www.ema.europa.eu/docs/en_GB/document_library/Medicine_QA/human/000560/WC500142021.pdf>
- PRACはtetrazepam含有医薬品の製造販売承認停止を勧告：稀だが重篤で時に致死的な皮膚反応の報告を受け、これら薬剤のベネフィットはリスクを上回らないとして
<http://www.ema.europa.eu/docs/en_GB/document_library/Referrals_document/Tetrazepam_containing_medicinal_products/Recommendation_provided_by_Pharmacovigilance_Risk_Assessment_Committee/WC500142020.pdf>

■Health Canada

- プロトンポンプ阻害薬：骨折リスクについて
<<http://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2013/26523a-eng.php>>
- TASIGNA (nilotinib)：アテローム性動脈硬化症に関連した疾患を発症するリスクの可能性
<<http://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2013/26651a-eng.php>>

■独BfArM

- Thalidomide Celgene (thalidomide) のRote-Hand-Brief：血液学的な第2原発性悪性疾患の発症リスクについて
<<http://www.bfarm.de/DE/Pharmakovigilanz/risikoinfo/2013/rhb-thalidomid.html>>

■仏ANSM

- Mimpara (cinacalcet) –cinacalcetによる死亡発生後、小児臨床試験を停止していることについて；医療専門家向けレター
<<http://ansm.sante.fr/S-informer/Actualite/Mimpara-cinacalcet-Suspension-d-essais-cliniques-pediatriques-apres-la-survenue-d-un-deces-Lettre-aux-professionnels-de-sante>>
- Incivo (telaprevir) に関連した重篤な皮膚反応について；医療専門家向けレター
<<http://ansm.sante.fr/S-informer/Actualite/Incivo-Telaprevir-Prise-en-charge-des-reactions-cutanees-severes-Lettre-aux-professionnels-de-sante>>

JAPIC事業部門 医薬文献情報（海外）担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail（有料）もしくはJAPIC WEEKLY NEWS（無料）のサービスをご利用ください（JAPICホームページのサービス紹介：<<http://www.japic.or.jp/service/>> 参照）。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供を御希望の医療機関・大学の方は、事務局業務・渉外担当（TEL 0120-181-276）までご連絡ください。

【新着資料案内 平成25年4月9日～平成25年5月2日受け入れ】

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。この情報は附属図書館の蔵書検索 (<http://www.libblabo.jp/japic/home32.stm>) の図書新着案内でもご覧頂けます。これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越し下さい。

〈配列は書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著編者	出版者	出版年月
CPS 2013 Compendium of Pharmaceuticals and Specialties	Carol Repchinsky ed.	Canadian Pharmacists Association	2013年
動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症治療ガイド 2013年版	日本動脈硬化学会	日本動脈硬化学会	2013年4月
Drug Facts and Comparisons 67版	Facts & Comparisons	Lippincott Williams & Wilkins	2013年10月
ICH-GCPナビゲーター～国際的視点から日本の治験を考える	治験国際化研究会	じほう	2013年3月
医薬品製造承認品目一覧 2013年版 (2012年1月～12月承認分)	一般財団法人日本医薬情報センター	一般財団法人日本医薬情報センター	2013年4月
Merck Index: An Encyclopedia of Chemicals, Drugs, and Biologicals 15版	O'Neil, Maryadele J.	Royal Society of Chemistry	2013年
線維筋痛症診療ガイドライン<2013>	日本線維筋痛症学会	日本医事新報社	2013年3月
USP DICTIONARY of USAN and International Drug Names 2013	USP Convention, Inc.	USP Convention, Inc.	2013年
Vademecum Modern Ilac Rehberi 2012	Riza Ommatly	Medical Tribune Yayıncılık	2012年
私が目指すMR MR誕生記念100周年記念 論文コンクール入賞作品	公益財団法人MR認定センター	公益財団法人MR認定センター	2013年4月
薬事ハンドブック<2013> 薬事行政・業界の最新動向と展望	じほう	じほう	2013年3月

情報提供一覧

【平成25年5月1日～5月31日提供】

出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合は当センター事務局 業務・渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせ下さい。

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	http://database.japic.or.jp/
1. [JAPIC Pharma Report-海外医薬情報]	5月3日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. [添付文書入手一覧] 2013年4月分 (HP定期更新情報掲載)	5月1日	2. 学会演題情報	月 1 回
3. [JAPIC NEWS] No.350 6月号	5月24日	3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (FAX、郵送、電子メール等で提供)		4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
1. [JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報] No.880-883 (旧: 医薬関連情報速報FAXサービス)	毎 週	5. 臨床試験情報	随 時
2. [医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)]	毎 週	6. 日本の新薬	随 時
3. [JAPIC-Q Plusサービス]	毎月第一水曜日	7. 学会開催情報	月 2 回
4. [外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)] No.2910-2930	毎 日	8. 医薬品類似名称検索	随 時
5. [JAPIC Weekly News] No.400-403	毎週木曜日	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
6. [Regulations View Web版] No.262-263	5月17日・31日	〈iyakuSearchPlus〉	http://database.japic.or.jp/nw/index
7. [感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)] No.491-493	毎週月曜日	1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
8. [PubMed代行検索サービス]	毎月第一・三水曜日	2. 学会演題情報プラス	月 1 回
9. [JAPIC医療用医薬品集2013] 更新情報2013年5月版	5月31日	3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日
		4. Regulations View DB (要:ID/PW)	月 2 回
		外部機関から提供しているJAPICデータベース	
		〈JIP e-infoStreamから提供〉	https://e-infostream.com/
		〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉	http://jdream3.com

医療用 医薬品集2014



赤ジャピ40年の伝統を守り
薬剤師を中心とした
専門のスタッフが丁寧に作成しています。

2013年
8月発刊予定



本書の特長

- ◆2013年6月後発品まで収載
- ◆約40年の編集実績による信頼と使いやすさ
- ◆国内流通全医薬品の最新情報に基づき作成
- ◆検索用DVD(非インストール版)付
(DVD単体8,000円(税込)で別途販売しております。)
- ◆便利な「薬剤識別コード一覧」
(冊子。別売2,940円 税込)の無料請求葉書付
- ◆類似薬選定のための
「薬効別薬剤分類表」を収載
- ◆更新情報メールの無料提供 (要登録)

13,650円(税込) B5判 約3,300頁

一般財団法人 日本医薬情報センター **JAPIC** 編集・発行
丸善出版株式会社 発売

Windows版

検索用(非インストール版)DVDとは

| 収 | 録 | 内 | 容 |

- 医療用医薬品集
- 薬剤識別コード一覧
- 後発品の全情報
- 医療用医薬品の最新添付文書画像(PDF)の表示機能付
(無料・要インターネット接続。PDFは毎週更新)
(インストール版(CD-ROM)は15,000円(税込)で別途販売しております。)
- 一般用医薬品集
- 薬価情報
- 添加物情報

上記書籍の他、電子カルテやオーダーリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の
販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。

Garden

ガーデン

このコーナーは薬用植物や身近な植物に
ついてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

おだまき

麻糸の紬(つむぎ)車=苧環「おだまき」に花の形が似ているので名づけられたが、本家の紬車が廃れ、この花の名前が生き残っている。園芸植物として人気が高いが、本来は高山植物のミヤマオダマキを改良して作られた。キンボウゲ科に時々含まれるプロトアネモニを含むので有毒ではあるが、食べる人はいないので中毒例はなさそうだ。(ky)



JAPICホームページより
<http://www.japic.or.jp/>

HOME ▶ サービスの紹介 ▶ ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。